



成城大学
国際編集文献学研究センター
Research Center for Textual Scholarship
Seijo University

シンポジウム

編集文献学の国際比較

ポーランド・台湾・ドイツ・日本

An Introduction to Comparative Textual Scholarship
Poland, Taiwan, Germany, Japan

Mateusz Antoniuk (Jagiellonian University)

Peng Yi (National Central University, Zhongli)

Katrin Henzel (Kiel University)

Kiyoko Myojo (Seijo University, Director of RCTS)

Interpreter:

Soichiro Onose (Japan Women's University)

2024年3月12日 (火)
13:00 ~ 17:00

会場：成城大学 3号館 321教室
定員：100名 (事前申し込みが必要です)
使用言語：日本語・英語 (日本語字幕・通訳付)

■問い合わせ：

成城大学国際編集文献学研究センター事務局

E-Mail：ts-office@seijo.ac.jp

■主催：成城大学国際編集文献学研究センター

◆令和5年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A)

「第三世代としての編集—古典の再生と文学研究の活性化をめざす編集文献学的研究」 (研究代表者：明星聖子) による事業

■参加申し込み：

3月10日(日)までに下記URLまたは右QRコードから
Googleフォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/HXYuMFFmJRLxW9126>

■参加費無料



科研費
KAKENHI

■ プログラム

▶ Mateusz Antoniuk

From “critical edition” to “genetic edition”.
Some remarks on the basis of Czesław Miłosz’s poetry

「批判版」から「生成版」へ
チェスワフ・ミウオシュの詩をめぐって

▶ Peng Yi

The Collected Manuscripts of Lu Xun:
An Observation Across the Divide

魯迅の手稿集
分断を越えた観察

▶ Katrin Henzel

Caught in traditions?
Goethe’s *Faust* and German textual scholarship

伝統に囚われる？
ゲーテ『ファウスト』とドイツ編集文献学

▶ Kiyoko Myojo

East meets West in Textual Scholarship:
the history of the editing of Soseki’s *Kokoro*

編集文献学における東洋と西洋の出会い
漱石『こころ』編集の歴史

Interpreter: Soichiro Onose

通訳：小野瀬宗一郎

■ 登壇者紹介



マテウス・アントニウク

Mateusz Antoniuk

ヤギェウォ大学ポーランド文学部教授
および同大学クリエイティビティ・リ
サーチセンター長。主な業績
として、著書 “Pracownia Herberta:
Studia nad procese tekstotwórczym”
(2017) など。



カトリン・ヘンツェル

Katrin Henzel

キール大学図書館職員。ゲーテ『ファ
ウスト』のデジタル史的批判版の編集
作業に携わる。主な業績として、論文
“Digitale genetische Editionen aus der
Nutzerperspektive.” (*Textgenese in der
digitalen Edition* 2019所収) など。



易鵬

Peng Yi

国立中央大學英美語文學系教授および
上海交通大學中國作家手稿研究セン
ター・特聘研究員。主な業績として、
著書『文本與現代手稿研究』(2019)
など。



明星聖子

Kiyoko Myojo

成城大学文芸学部教授および同大学国
際編集文献学研究センター長。主
な業績として、著書『カフカらしく
ないカフカ』(2014)、共編著『テク
ストは何か—編集文献学入門』(2015)
など。

■ 会場案内

小田急線「成城学園前」駅中央改札より徒歩4分。

3号館へは正門よりまっすぐ進んで、左手にあります。
会場321教室は、3号館入って正面の階段を上がって、2階
にあります。

